



# Sabae Rotary Club

RI 第2650地区 2016-2017年度 鯖江ロータリークラブ



国際ロータリーのテーマ

人類に奉仕する  
ロータリー

RI第2650地区のスローガン

夢を語り、現在を刷新  
Review From the future and Renew



鯖江ロータリークラブ会長方針  
老壮青 今、日々を大切に  
「感謝で繋ぐ」その為に...  
会長 田村 康夫

第2792回  
2/24(金)

2月第4例会  
点鐘:12:30

第2793回  
3/3(金)

3月第1例会  
点鐘:12:30

第2794回  
3/10(金)

3月第2例会  
点鐘:12:30

テーマ「鯖江のめがねの生い立ち」  
(一社)福井県眼鏡協会 会長  
卓話 竹内 良造 様

テーマ「越前漆器業界の動向と、今後の方向性」  
越前漆器(協)理事長  
卓話 土田 直 様

テーマ「日本と世界のエネルギー事情」  
日本原子力発電機教習技術涉外・広報グループ  
卓話 森 丈 男 様

2/24(金)  
第2792回  
例会報告

4つのテスト

出席率81.2%

鯖江商工会議所 3階中ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘  
四 つ の テ ス ト  
ロ - タ リ - ソ ン グ  
好意と友情の握手タイム  
会 長 の 時 間 等  
閉 会 点 鐘

ロータリーソング



「それでこそ  
ロータリー」  
桑原 重之  
副ソングリーダー

好意と友情の握手タイム



ゲスト及びビジター紹介と会長の時間



田村 康夫 会長  
本日のゲストは、  
(一社)福井県眼鏡  
協会会長竹内良造  
様。テーマは、「鯖

江のめがねの生い立ち」。  
今年度の地区補助金事業である「サバ  
ーンのお約束体操」、幼児を対象とした  
交通安全体操で、今日も行ってまいった。  
26の園に出向いて、3/10のあすなろ保  
育園が最後となる。この体操には、手話  
を取り入れてある。先日、ろうあ者大会があ  
った。手話は言葉や気持ちを伝える大事  
な言語である。手話言語法というものを  
国会に働きかけて欲しい。また、都道府  
県に手話言語条例を制定して欲しいと、  
議会をお願いをしている。現在、47都道  
府県中、12程の自治体で制定している。  
その中で、手話を広げる知事の会(鳥取  
県知事が会長 37名会員)昨年、福井で  
開催されたが、福井県知事は加盟してい  
ない為、県知事は不参加だったのが残念  
だと思った。至急、手話言語条例を福井  
県でも制定する必要があると感じた。

幹事報告



帰山 明朗 幹事  
先週の「国際交流  
座談会」例会では多  
くの会員の皆様  
にご参加いただき誠

にありがとうございます。おかげさまで多くの外国人  
ゲスト、地域の高校生たちにも多数ご参  
加いただき、アクトのメンバーたちとも  
に有意義な例会となった。担当の野中国  
際奉仕委員長、岡本青少年奉仕委員長に  
も改めて感謝申し上げます。

先般、ご案内の通り、来月3月17日  
(金)の例会は、ローターアクトクラブとの  
合同夜間例会を「ローターアクト会員増  
強大作戦 2017」のテーマで行う。時間は  
午後6時30分点鐘、会場は「富士屋会  
館」。アクトとの合同夜間例会とし、また会  
場を移動して行うこととする。現在、文書  
でご案内し出欠  
を取りまとめている。  
どうか多く  
のご参加をよろしく  
願います。



閉会点鐘:酒井芳則会員

福井県内RC例会日

無印:12:30-開始

K:18:30-開始

L:19:00-開始

月曜日	福井東RC(AOSSA)	若狭RC(わかやまね7-12月分れくみ屋)	敦賀RC(福井銀行敦賀支店)	金曜日	福井あじさいRC(あじさいクラブ)	
火曜日	福井南RC(福井織協ビル)	水曜日	福井北RC(バ・グランドアール)	木曜日	福井RC(ユアーズホテル福井)	福井西RC(パ・ド・グランドホテル)
	K 福井エニクスRC(バ・グランドアール)		K 丸岡RC(丸岡城のまちまじろイシイ)		L 福井水仙RC(福井パレスホテル)	三国RC(三国観光ホテル)
	勝山RC(勝山市民活動センター)		大野RC(大野商工会議所会館)		武生府中RC(越前たけふ農協会館)	
	武生RC(武生商工会館)		鯖江北RC(神明苑)		L 敦賀西RC(ニューサンピア敦賀)	

プログラム (一社)福井県眼鏡協会 会長  
卓話 竹内良造様

テーマ 「鯖江のめがねの生い立ち」



卓話者の紹介  
**孝久 治宏 プログラム委員長**

本日のお客様は、一般社団法人福井県眼鏡協会会長の竹内良造様。昭和19年生まれで、72歳、市内杉本町「竹内光学工業株式会社・竹内産業有限会社」を営まれている。創業は昭和7年で、現在創業85年になられる。デザインから完成まで、一貫生産されている。お名前が、良いものを作ると書いて、良造さんとなっているので、文字通り鯖江市発展のために貢献されている。本日は「鯖江のめがねの生い立ち」というテーマでお話しいただく。

(一社)福井県眼鏡協会会長  
**竹内良造様**



1551年、鉄砲を伝えたとされるイエズス会の宣教師、フランシスコ・ザビエル氏が長崎出島にめがねを伝え、1600年頃、徳川家康に献上されたのが日本におけるめがねの歴史の始まりと言われている。最初にめがねが作られたのは、長崎県と言われ、材料が多く輸入されていたことが要因のようだ。その後、多くのめがねを制作する「鏡師」が登場し、それが東京(江戸)から大阪に伝わった。鯖江の歴史は、1905年増永五左衛門氏が、大阪から職人を鯖江に招き、作り始めたのがきっかけとされている。最初は農閑期の副業として始まり、次第に「帳場」と呼ばれるグループを設けた。これは優秀なめがね技術者の育成と独立を促すために考案されたもので、めがね製造の技術が向上し、加えてそれぞれが独立して次世代の人材育成を行うようになった。

その成果は現れ、1916年にレンズの製造を開始、1937年に金張りメッキとセルロイドを使用したフレームの製造を本格的に開始したが、1971年には、大手企業(ニコン・HOYA・服部)がめがねに参入し、物流が変わってしまった。1974年には、金とパラジウムの合金メッキを開発し、硬くて変色しない革新的なめがねを開発した。さらに1984年には世界で初めてのチタンを使用したフレームを製造した。チタンは、軽量で丈夫である上に、金属アレルギーを起こしにくい特質があり、「体



に優しいめがね」として世界中に広まった。そして現在、CAD等コンピューターをフル活用し、文字通り品質・技術・素材において実質世界NO.1のフレーム生産量は、全国の96%を福井県がしめている。

日本製の良さは＝日本の素晴らしさ＝日本人の優秀さに起因する。

**何で日本製が良いかについて、**

私は常に思っている自論(要因)がある。その理由は、まず①日本の基礎産業がキチンとなっている事(素材であったり、仕組みであったりがしっかりしている事)。次に②加工機(工作機械)の精度が世界NO.1である事。③それを使う日本人(大和民族)が優秀で、世界NO.1である事。この3つが揃ったら何を作っても世界NO.1になるという事だ。

**その意味としては**

過去、不幸にも先の大戦で日本は破れ、どん底になった。その時、我々の先輩達は「何としても日本を復興させたい」との思いから、優秀大学を出られた人達は、皆さん工業系の産業に就かれて素材・機械・建築・仕組み等を真剣に研究されて、現在の基礎をキチンと構築された。だから、素材は日本製、機械も日本製と言う程になったのだ。

一方人的には、これまた優秀な大和民族、勤勉で真面目で、平和的でコツコツ努力し、がむしゃらに頑張る民族(世界で一番優秀な民族と私は思っている)。

**なんでそのような国民性になったか**

日本は四季がある。寒さ・暑さをどうしたら住みやすくてできるか?農耕民族だから、どうやったら昨年より多く採れるか?二千年以上に亘って考えてきた民族だ、いろいろ努力し、考えながら工夫し、コツコツ頑張る民族。これまた世界一。

これら3つが揃ったら、何をしても何を作っても、世界NO.1になる。当然の事、めがねも品質世界1になる。ただ、残念なことに価格も世界1。今の低価格市場の中、価格で苦戦している。今後に於いては、その部分をどうするかが、大きなポイントとなってくる。例えば、昭和47年頃までは、産地各社の名前で出荷していた仕組みに再度構築するか、各社のハウスブランドをどのようにして後押しするか、この当たりが、今後最大のテーマになる様に思う。



委員会報告



**岡本 圭子 青少年奉仕委員長**

先週の「国際奉仕座談会」には、多数のご出席・ご協力をいただき、誠に

ありがとうございます。またお願いになってしまいが、3月17日にローターアクトとの夜間合同例会が行われる。昨年と同じく「富士屋会館」でさせていただきます、登録料としてロータリアンの皆様には2000円のご負担をよろしくお願いいたします。

ローターアクトは、危機的状況なので、この夜間例会において、勧誘致したく思うので、30歳まででご参加いただける方をご存知でしたら、是非お誘いいただき、この夜間例会にご出席いただけるよう、よろしくお願いいたします。早速、佐野会員のご

子息が来てくださるという事で、皆様も、お身内・お知り合いの方をお連れください。



**深見 泰和 親睦委員長**

第1回の同好会「陶芸教室」を1/22に行った。

15名ほどのご参加をいただき、その時の力作が後ろに展示してある。帰りにお忘れなく、お持ち帰り願う。次回の同好会は食べ物関係を予定しているので、詳細が決まり次第、皆様にご案内する予定でいるので、よろしくお願ひする。



にこにこBOX報告

- 1 竹内様をお迎えして
- 2 早退します
- 3 県眼鏡協会竹内会長 本日はありがとうございます
- 4 今夜の家庭会合楽しみにしています
- 5 竹内会長の卓話に期待して

- 1・2 田村 康夫
- 3 帰山 明朗
- 4・2 大島 恒彦
- 5 齋藤多久馬
- 5 窪田 健一

小計 ¥ 13,000  
累計 ¥ 829,000